

みんなのた場

サークル仲間 ⑬

石巻少年少女合唱隊

歌声で元気を届ける
思いやりや絆、利他の心育む



石巻少年少女合唱隊の皆さん



普段の練習では、伸びやかな歌声の
ハーモニーが響きます

石巻中央公民館を拠点に活動する石巻少年少女合唱隊。3歳から中学3年生までの子どもたちを対象にし、現在は13人が所属しています。地域のお祭りなどイベントにも積極的に参加しており、その歌声を聞いたことがある人も多いでしょう。

気や癒やしを与える存在として40年以上続いており、現在は千葉美貴子代表が子どもたちを指導しています。千葉代表は「合唱を通して、上下関係や思いやりの心、挑戦する勇気を育ててほしい」と思いを込めます。

合唱隊は東日本大震災も乗り越えて活動を続けています。復興支援をいただいたさまざまな人たちに感謝し、子どもたちの発案で募金活動も展開して災害被災地に届けるなど、利他の精神も育んでいます。

しかしコロナ禍となり、参加していた地域のイベントが軒並み中止となったことで発声も控えるようになりました。それでも、子どもたちは練習に集まり、歌は歌えずとも絆を深めてきました。

木村奏友さん(蛇田小6年)は「姉が入隊していたのがきっかけで興味を持ちました。楽しい思い出いっぱい」と話します。青木響弥さん(石巻小6年)も「合唱隊に入って練習を重ねたことで、オンチと呼ばれなくなりました」とこやか。内海七那さん(石巻小6年)は「合唱をやりたいと入隊しました。しっかりと声で歌えるようになりました」と成長を実感しています。

合唱隊では、一緒に歌を楽しむ子どもたちを募集しています。問い合わせは石巻中央公民館(☎221-2970)まで。

ささえあいセンター通信 ⑦

地域福祉講演会 ～地域の支え合いを考える大会～



地域包括ケアを推進するための取組の一つである地域づくりや地域のつながりについて、市民の皆さんと考え、共通認識を図ることを目的に市と石巻市社会福祉協議会、石巻市地域包括ケア推進協議会が合同で令和3年11月21日に遊楽館で開催しました。

約270人の参加があり、講師としてご近所福祉クリエイターの酒井保さんをお招きし「コロナ禍で笑顔を紡ぐススメ方」と題した講演を行いました。会場は、時折ユーモアを交えたお話で笑いを誘いながら、なごやかな雰囲気の中で、コロナ禍における地域活動の大切さについてお話をいただきました。

また、外出頻度が減ると社会性(つながり)が低下し運動機能が低下すること、ご近所でのサロンなどの集いや趣味の活動、友人とおしゃべり、散歩といった日常的な娯楽も十分社会性の維持に役立つことであって、それがフレイル(※)予防につながるということを話されていました。

参加された皆さんにとって地域活動の意義を再確認する講演会となりました。

(※)フレイル(体が弱くなる、虚弱):動かないこと(生活不活発)による心身や脳の機能低下

☎ 25-6659

石巻市立桜坂高等学校

桜坂だより 第25号



こんにちは、桜坂高等学校です。今年度も地元石巻を学ぶ3年生の「市役所プロジェクト」、2年生の「さくらプロジェクト」を開催しました。温かいご対応をいただきありがとうございました。

11月17日

市政への関心を高めるとともに、行政について理解を深める「市役所プロジェクト」(3年生)では、各課の課題へのプレゼンを行った後、石巻市議会議場を見学、議員さんから議会について説明を受けました。議員さんのように、質問もさせていただきました。



11月24日

地元の企業を通して、石巻の課題を知り、石巻への理解を深める「さくらプロジェクト」(2年生)の発表会を開催しました。協力いただいた各企業の担当者の方をお招きして、一緒に発表を聞いていただきました。



牡鹿 捕鯨基地の歴史、文化を視察

牡鹿地区でエクスカーション



全国鯨フォーラム2021石巻(令和3年11月17・18日)の一環で、牡鹿地区を会場にしたエクスカーション(遊覧視察)が開催されました。招待者は、おしかホエールランドや捕鯨会社の見学を行い、捕鯨船前広場野外ステージでの鮎川小学校児童による「牡鹿銀鱗太鼓」の披露は、エクスカーション招待者のほか、地元住民の方や観光で訪れた方など多数の来場者で賑わいました。同日、震災の津波にも耐えた大型捕鯨船「第16利丸」の乗船公開(無料)も10年8カ月ぶりに再開され、多くの方が来場し、乗船しました。

石巻 学区歩き防災マップ作り

らいつ・子どもまちづくりクラブ

石巻市子どもセンターらいつが取り組む「子どもまちづくりクラブ」の防災プロジェクト地域報告会が令和3年11月21日にありました。小学5年生から高校3年生までの約10人が、8月に石巻小、住吉小の学区内を歩き、危険箇所などを書き込んで防災マップを手がけました。今後は大人の意見も取り入れ、3月にマップを完成させる予定です。



河北 モ〜っと居たいけどまた春に

上品山牧場で雌牛退牧

夏の間、上品山で過ごした雌牛たちの退牧が令和3年10月29日に行われました。放牧は昭和47年の牧場開設から続くもので、広々とした牧場は斜面が多く、牛の健康作りに適しているといわれています。5月から29頭が161日間放牧されており、途中退牧を除いた19頭が体重測定や消毒作業などを経て、トラックに載せられて各畜産農家の下へ帰りました。



雄勝 有事に備えてきびきび訓練

地区団がポンプ運用、放水実施

令和3年11月14日、秋の全国火災予防運動にあわせ、石巻市消防団雄勝地区団において雄勝体育館前広場を会場に技術講習会が実施されました。当日は、河北消防署雄勝出張所職員の指導のもと、ポンプ運用訓練と放水訓練が実施され、参加した団員は、真剣な表情で訓練に取り組んでいました。各地区消防団では、災害が発生した場合に備え、定期的にさまざまな訓練を実施することで、市民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりに努めています。



河南 伝統のロードレース大会

石巻北高の全校生徒

石巻北高校の全校生徒を対象にした「第52回ロードレース大会」が令和3年11月19日、同校を発着点に男子9.5km、女子6.5kmで行われました。体育の授業の一環として毎年実施している伝統行事で、長距離走を通して生徒の体力を養い、達成感を感じてもらうことが目的です。爽やかな秋晴れの下、生徒たちはより上の順位を目指し、勢いよく出走。ゴール後、保護者の皆さんが作った豚汁で心身を温めていました。



桃生 詰所見学で消防の仕組み学ぶ

中津山第一小の3年生

中津山第一小学校の3年生15人は秋の全国火災予防運動中(令和3年11月9~15日)の10日、学校隣の消防団詰所を見学しました。皆、近くにあるのに中を見たことがなく、興味津々。講師を務めた河北消防署桃生出張所の消防士から、署と団の違いや、1本当たりの長さが体育館の長辺と同じ20mのホースをつないで放水することなどを学びました。消防車と救急車の説明や装備の試着体験もあり、児童たちは安全安心を守る仕事に理解を深めました。



北上 自慢のコレクションずらり

2日間だけの美術館

北上公民館は令和3年11月27・28日、「2日間だけのにっこり美術館」と題した特別企画展を開きました。クラフトバンド、フラワーの各教室受講生の作品が展示されたほか、「自慢の一品コレクション」と題し、市民が収集した絵画やカントリー人形、オイルライター、蓄音機といった品々が披露されました。東日本大震災後初めての企画展で、女川法印神楽保存会による神楽面などの展示もありました。

